

Spring Frameworkの脆弱性 (CVE-2022-22965)

概要

古いバージョンの「Spring Framework」を使って作られたWebアプリケーションで、脆弱性を利用され、サーバを遠隔操作される可能性があります。

脆弱性の情報

脆弱性識別子 : CVE-2022-22965
通称 : Spring4Shell
CVSSスコア(深刻度) : 9.8(緊急)



遠隔操作される条件

遠隔操作されるおそれがあるのは、**次の条件全て**にあてはまるWebアプリケーションです。

- ① Spring Framework 5.3.0～5.3.17、5.2.0～5.2.19、またはそれ以前のバージョンを使用して作成された
- ② JDK9またはそれ以降のバージョンを使用している
- ③ サーブレットコンテナにApache Tomcatを使用している
- ④ アプリをSpring Bootの「war」形式のパッケージにしている
- ⑤ 「spring-webmvc」または「spring-webflux」を使用している

対策

✓ Spring Framework、Spring Bootを最新バージョンに更新する

※ 遠隔操作される条件に該当するか否かにかかわらず、システムやアプリケーションのアップデートは欠かさず行ってください。